



PRESS RELEASE



2022年3月25日

各 位

会 社 名 株式会社カーチスホールディングス
(コード番号 7602 東証第2部)
代表者名 取締役兼代表執行役社長 長倉 統己
問合せ先 経営企画部 課長 高橋 英知
(TEL 03-3239-3185)

特別目的会社であるカーチスファンドにおける
ノンリコースローン導入のお知らせ

2021年11月24日付「新たな事業（特別目的会社であるカーチスファンドを活用したリースバック事業）の開始に関するお知らせ」、及び2022年3月17日付「（開示事項の経過）新たな事業（特別目的会社であるカーチスファンドを活用したリースバック事業）の開始に関するお知らせ」に関して、今般、合同会社カーチスファンドナインス（以下、「SPC」という。）より、金融機関からのノンリコースローン導入を決定し、本日付で実行された旨の報告を受けましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業背景

当該事業は、当社子会社である株式会社カーチス（以下、「カーチス」という。）が、運送事業者等が保有する事業用車両を買い取り、SPCに対象車両を売却し、SPCは資産運用として、対象車両をカーチスがマスターレシー（転貸者）となり、エンドユーザー（転借者）である運送事業者等へのオペレーションリースによる転貸を行うものであり、カーチスは、SPCへの車両売却をもって収益計上を行うものとしております。カーチスとカーチスファンドの資本関係はありませんが、カーチスファンドの資産運用先はすべてカーチスが対象となっております。

SPCによるカーチスファンドナインス1号は、2021年12月10日に組成され、私募取扱業者であるGCMアセットマネジメント株式会社（東京都港区赤坂1丁目12番32号アーク森ビル13F 代表取締役 山地廣明）を通じた匿名組合出資の募集がなされており、すでに募集は完売により終了しております。

今般、SPCより、株式会社東京スター銀行からのノンリコースローンが実行された旨の報告を受けたものです。

ノンリコースローンは、特定の事業や資産から生ずるキャッシュフローのみを原資に債務履行がなされる融資であり、匿名組合出資者にとっては、利回りも向上し、より好条件の商品となり、今後のカーチスファンドへの募集が集めやすくなります。また、ノンリコースローンについては、基本的にカーチスから事業用車両を購入する資金となり、カーチスからカーチスファンドへの事業用車両の売却が確保されます。

2. 事業の相手先の概要

特別目的会社であるSPCの概要

| | | |
|---------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| (1) 名 称 | 合同会社カーチスファンドナインス | |
| (2) 所 在 地 | 東京都千代田区紀尾井町4番1号新紀尾井町ビル2F | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表社員 一般社団法人プレート・インベストメント 職務執行者 堀江明弘 | |
| (4) 事業内容 | 各種自動車に係る資産の取得、保有及び処分並びに管理 各種自動車のリース及び賃貸借 | |
| (5) 資本金 | 100,000円 | |
| (6) 設立年月日 | 2021年10月20日 | |
| (7) 出資者及び出資比率 | 一般社団法人プレート・インベストメント 100% | |
| (8) 匿名組合出資の概要 | 名 称 | カーチスファンドナインス1号 |
| | 出資者 | 事業法人10社 |
| (9) 当事者間の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | 取引関係 | カーチスは当該SPCに事業用車両を販売し、オペレーションリースによる賃貸契約を締結しております。 |

SPCにおいてノンリコースローンを導入した金融機関の概要

| | | |
|---------------|-------------------|-------------|
| (1) 名 称 | 株式会社東京スター銀行 | |
| (2) 所 在 地 | 東京都港区赤坂二丁目3番5号 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 取締役兼代表執行役頭取 多田 正己 | |
| (4) 事業内容 | 銀行業 | |
| (5) 創業年月日 | 2001年6月11日 | |
| (6) 当事者間の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | 取引関係 | 該当事項はありません。 |

3. 当該SPCによるノンリコースローンの導入額

300,000,000円

4. 今後の見通し

今後組成されるカーチスファンドにおいてもノンリコースローンの導入が検討されており、カーチスからカーチスファンドへの事業用車両の売却がさらに増加するとともに、マスターレシーとしての収益力も高まることで業績に大きく寄与していくものと考えております。

本件事業が2022年3月期の連結業績に与える影響はありません。2023年3月期の連結業績に与える影響については現在精査中であり、判明次第すみやかにお知らせいたします。

以 上